



「将来の担い手確保に向けて」 建設業魅力発信セミナーの開催

北海道建設部建設政策局建設管理課

1 はじめに

近年、北海道内建設業においては、若年者の入職が進まず、一方で就業者の高齢化が進んでいることから、熟練者から若年者への技術・技能の承継が困難となり、社会資本整備など建設業本来の役割が果たせなくなることが懸念されています。

こうした状況を踏まえ、道では、建設業の担い手確保のため、関係団体等と連携・協力しながら様々な取組を行っていますが、新たな取組として、2017年8月から10月にかけて、札幌、帯広、北見、旭川、函館の5カ所で、学生のほか広く道民の方々を対象に、建設業の役割や魅力を伝えるセミナーを開催し、約300名の参加をいただきました。

2 セミナーの内容

担い手の確保には、長時間労働の是正や週休2日の導入など、働きやすい職場づくりが不可欠ですが、建設業に対するイメージを変え、その魅力をPRしていくことも必要です。

そこで、本セミナーでは、道内で現在施工中の大規模な建設工事や、最近注目を浴びているICT（情報通信技術）を活用した建設工事を紹介しながら、建設業の役割や魅力を伝えることとしました。

大規模な建設工事については、セミナーの開催場所によって紹介した工事は異なりますが、特殊なコンクリートを使用して建設する液化天然ガスタンクの工事



建設業魅力発信セミナー（札幌市会場）

や、札幌都心で建設する地上28階の超高層ビルの工事などについて紹介しました。ICTを活用した建設工事については、すべてのセミナーで紹介しました。

また、建設工事の紹介のあとに、道内の建設業で活躍する女性を紹介したDVDを上映したほか、実際に建設業で活躍されている地元の若手職員から、建設業で働くやりがいなどについてお話しいただきました。



若手建設技術者百澤貴紀氏（宮坂建設工業㈱）の体験談（帯広市会場）

3 参加された方の意見

セミナー終了後、本セミナーに関する感想などを自由に記載してもらうアンケートを行いました。広く道民の方を対象にしたセミナーなので、講師が専門用語を少なくし、わかりやすい説明をしたおかげで、多くの方から「説明がわかりやすかった」との意見をいただきました。

また、ICTを活用した建設工事の紹介では、「ICTの活用により建設業の労働環境が改善される」「ICTの仕事は今の若い世代に向いている」といった説明が講師からあり、参加の学生からは「ICTに興味を持った」「建設業の見方が変わった」などの意見が寄せられました。

建設業で活躍している若手職員からは、現場での苦労話もありましたが、「担当した工事が完成したときの達成感」や「建設業は地図に残る仕事」などを建設

業の魅力として挙げ、参加した学生らに熱いメッセージを送っていました。学生のほか一般の方からも「体験談が良かった」との意見を多くいただき、建設業の魅力を伝えるには、やはり実際に働いている人の生の声を聞いてもらうのが一番であるということあらためて感じました。

4 今後の取組について

今回初めてセミナーを開催し、いろいろ反省点や課題もありましたが、セミナーの参加者からは、「このようなセミナーを継続して開催してほしい」「もっと増やしてほしい」といった意見も多くいただいております。来年度も開催する方向で検討しています。

道では、このようなセミナー以外に、建設業の役割や魅力をPRするため、女性が建設業で活躍できることをテーマにしたセミナーや、子どもたちが建設業のお仕事体験ができるイベントなどを開催しています。

また、小中学校や高校などを訪問し、建設業の出前講座も行っていますので、ぜひ活用していただきたいと思っております。

終わりに、本セミナー開催に当たり、講演いただいた講師の方々やご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げます。



若手建設技術者松井美唯氏（㈱橋本川島コーポレーション）の体験談（旭川市会場）